Webアプリケーション

3114 公文健太

目的

環境構築1

結果

- システムの概略
 nginxを用いてwebサーバーを開く
 src/static/index.htmlがコンテンツのソース
 src/docker/nginx_default.confが設定ファイルとして用いられる
- 動作確認の方法 docker compose upコマンドを実行し、http://localhost:8090/が動作することを確認する

環境構築2

- システムの概略
 nginxを用いてwebサーバーを開く
 pythonのWeb Application Frameworkの一つであるFlaskを用いて、htmlファイルを改変する
 Dockerfileを用いてpythonライブラリをインストールする
 main.pyを用いてサーバーアクセス時の挙動を決定する
- 動作確認の方法 docker compose upコマンドを実行し、http://localhost:8080/が動作することを確認する

結果



課題1

1. • 動作確認の方法

http://localhost:8080/listが動作することを確認する

。 結果



2. ・動作確認の方法

http://localhost:8080/detail?id=1048576にアクセスしidの部分が表示されるか確認する

。 結果



3. ・動作確認の方法

http://localhost:8080/post1にアクセスしテキストフィールドに入力しsubmitボタンを押し、http://localhost:8080/post2が動作することを確認する

。 結果





1. o 動作確認の方法 http://localhost:8080/template_sampleが動作することを確認する

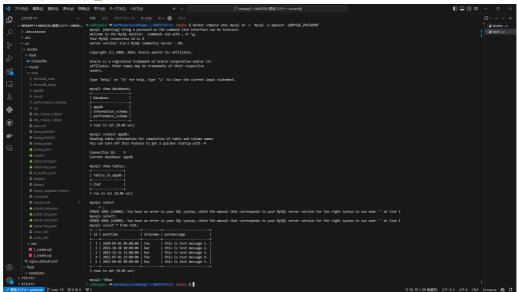


。 結果

環境構築3

- システムの概略 mysqlデータベースを用いてデータを格納する
- 動作確認の方法

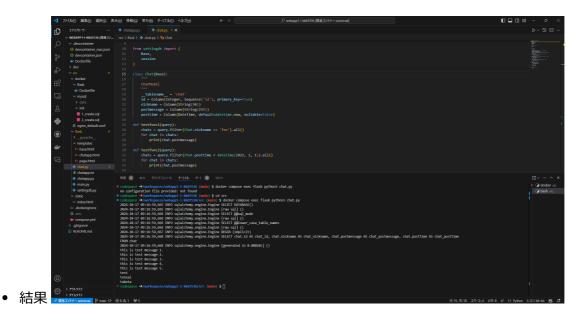
docker compose upを実行している最中にdocker compose exec mysql sh -c 'mysql -u appuser -p\$MYSQL_PASSWORD'を実行しデータベースにアクセスする



結果

環境構築4

- システムの概略 データベースにアクセスするのにpythonライブラリのSQLA1chemyを利用する settingdb.pyがデータベースに接続するためのクラス chat.pyがChatテーブルのひな型となる
- 動作確認の方法 docker compose upを実行している最中にdocker compose exec flask python3 chat.pyを実行 しデータベースにアクセスする

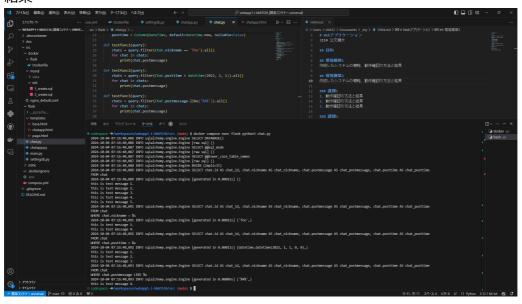


課題3

1. • 動作確認の方法

docker compose upを実行している最中にdocker compose exec flask python3 chat.py を実行しデータベースにアクセスする

。 結果

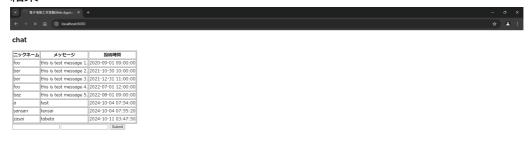


課題4

1. ・動作確認の方法

http://localhost:8080/にアクセスし、過去データの表示、データを入力した時に自動的に http://localhost:8080/が読み込まれ、入力したものが表示されていることを確認する。

。 結果



感想

サーバーを立てる方法、また通信する際に渡すhtmlファイルを動的に変更する方法を学んだ。webサイトを入力に応じて変更することができて楽しかった。pythonはライブラリが充実していてたくさんのことができて楽しかった。しかし、どのファイルがどの順番で動いてサーバーが構成されているのかは難しく、完全に理解することはできなかった。